

見 積 参 考 資 料

南国市

(金抜)

水道事業 第22号

高知県 南国市 立田

立田地区配水管布設工事 実施設計書

作業区分 請負

完成期限 令和 8年 3月 6日

工種区分 開削工事及び小口径推進工事等

施工地域区分 一般交通影響あり②

令和 7年11月 1日 積算単価適用

単価適用地区 中央東土木事務所 1 地区(南部地区)

- ・「見積参考資料」は入札参加業者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。
- ・入札においては「見積参考資料」に記載された事項を最優先するものとし、その他の閲覧資料との表示に違いがある場合においても、入札の公正性が確保される範囲で入札事務を継続するものとする。
- ・「見積参考資料」に記載されている積算に関する事項については、契約後、必要に応じて建設工事請負契約書の規定に基づき、協議を行う場合がある。

特 記 仕 様 書

第1条 土木工事共通仕様書の適用

1 本工事の施工にあたっては、「高知県建設工事共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

但し、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

第2条 環境物品等の調達の推進（グリーン購入法）

1 本工事において「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「環境物品等の調達に関する基本方針及び調達方針」に基づき重点調達品目について積極的な利用をすること。なお、重点調達品目の中で木材・木製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法令に照らして合法なものを使用することとする。

第3条 県内産資材の優先使用

1 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。

なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督員の確認を受けること。また、検査時に県外産資材を使用した理由を検査職員に説明すること。

注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。

ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたもの、③木製型枠は、高知県内の森林から生産された木材で製造されたものとする。

注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。

第4条 木製型枠の使用

1 木製型枠とは、杉、檜の間伐材等を板材に加工したものと栈木を組み合わせて作成した型枠（以下「木製型枠」という。）をいう。また、一般型枠とは、鋼材または、合板で作成した型枠（以下「一般型枠」という。）をいう。

2 設計図書等に「木製型枠」と明示している構造物は、木製型枠を標準的に使用すること。ただし、止め型枠・パチ部への一般型枠の使用は可能とする。

3 高知県内産材を用いて木製型枠を製造する事業所は、高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/housin-keikaku/>）林業振興・環境部木材産

業振興課のページに掲載しているので参考にすること。

なお、県外産材で製作した木製型枠を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載し監督職員の確認を受けること。

4 木製型枠は、型枠の現場搬入時から型枠組立、型枠脱型までの施工期間中に現場で木製型枠であることの確認を受けなければならない。確認の方法については、県産材で製作した型枠及び県産材材料には製造者が証明（スタンプ等）を行っているため、その箇所を工事監督職員に提示することで確認とする。

5 木製型枠を使用できない事由があり、一般型枠を使用する場合も、その使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載すること。ただし、その場合は一般型枠への設計変更を行う。

6 受注者は、発注者が行う木製型枠に関する調査に協力しなければならない。

第5条 木材等を使用した公共土木施設の実績調査

1 本工事の受注者は、木材の利用の有無を問わず、木材等を使用した公共土木施設の実績を【高知県電子申請サービス】から申請すること。なお、【高知県電子申請サービス】による申請は以下のとおりとする。

2 申請について

(1) 受注者が高知県ホームページの高知県電子申請サービスのページから電子申請を行う。

(https://s-kantan.jp/pref-kochi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2052)

手続き名：高知県土木部 公共土木工事木材利用実績調査

(2) 申請前に電子申請システムから出力した「高知県土木部 公共土木工事木材利用実績調査」を工事監督職員へ提出し確認を受けること。

(3) 申請内容に関する問合わせは工事監督職員または高知県土木部技術管理課、システム操作に関する問合わせは「お問合せコールセンター」（申請画面下に掲載）とする。

第6条 工事現場における県内産木材の木製品使用

1 受注者は、工事請負金額（消費税含む）が250万円以上の場合、「高知県産材利用推進方針」の行動計画に基づき、仮設備や保安施設等の工事に仮設に関する資材は以下の通り、木製品を使用しなければならない。

ただし、これらに関する経費は諸経費に含むものとする。

(1) ア～オの資材のうち、いずれかに必ず木製品を使用すること。

ア 掲示板（現場組織表、緊急連絡先など公衆に知らせるため設置するもの）

特 記 仕 様 書

- イ 工事看板（１ヶ所以上）
- ウ バリケード（１品以上）
- エ 木製クッションドラム（１品以上）
- オ 交通安全管理等の標示板

ただし、供用中の道路に係る工事の施工に用いる交通安全管理用標示板の様式仕様等（形態、寸法、色彩ほか）は、「道路工事の安全施設設置要領（案）」（平成８年３月）に準拠すること。

- （２）上記１の資材を必要としない工事、委託業務については、その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を得ること。

その場合は、上記１以外の仮設備、保安施設等の工事前仮設資材で木製品をできるだけ１品以上使用すること

例：現場事務所の棚、机、靴箱、ベンチ等

注１：木製品とは、県内産木材で作成した製品または県内産木材の板材を受注者が加工したものとする。

注２：別工事で購入（加工）した木製品の使用も可とする。

注３：使用する木製品については、施工計画打ち合わせ時に監督職員に報告すること。

注４：県内産木材使用（納入）証明書は必要としないが、木製品の写真を工事写真に納めること。

第 7 条 個人情報の保護

- １ 受注者は、この契約による工事を施工するための個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律を遵守すること。

第 8 条 ダンプトラック等による過積載の防止

- １ 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- ２ さし枠装着車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- ３ 過積載車両、さし枠装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- ４ 取引関係のあるダンプトラック事業者が過積載を行い、またさし枠装着車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- ５ 建設発生土の処理及び資材の購入等に当たって、下請け業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ６ 以上のことにつき受注者は、下請け業者を十分に指導すること。

第 9 条 軽油単価の適正な運用

- １ 本工事において、受注者もしくは受注者の下請業者等が使用する建設機械の動力

源に使用する軽油において、軽油引取税の課税対象の免許証の交付及び承認がある場合は、すみやかに発注者に報告しなければならない。また、その場合、該当する建設機械に使用する軽油単価は免税後の単価に変更するものとする。

第 10 条 不正軽油の使用禁止

- １ 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

注：不正軽油とは、地方税法第 144 条の 32 の規定による県知事の承認を受けないで製造又は譲渡された次のものをいう。

- ① 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの
- ② 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの
- ③ 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、灯油等）

- ２ 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

第 11 条 「週休 2 日制モデル工事」の実施について（受注者希望型）

本工事は、「週休 2 日制モデル工事」実施要領における「受注者希望型」の対象工事である。詳細については、下記に掲載する同要領を参照すること。

南国市ホームページ

(<https://www.city.nankoku.lg.jp>)

なお、受注者希望型にあつては、発注時における労務費等の補正は実施せず、現場閉所の達成状況に応じて当該補正分を増額して変更契約を行うものとする。また、発注者指定型にあつては、発注時において労務費等を補正済みであり、現場閉所の達成状況が 4 週 8 休に満たない場合には、当該補正分を減額して契約変更を行うものとする。

第 12 条 現場環境改善（快適トイレの設置）〔受注者希望型〕

１ 対象工事

南国市が発注する請負対象金額（税込）が 1 千万円以上の工事（災害復旧を除く）を対象とする。

２ 内容

受注者は、以下の①～⑩の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。⑪～⑯の項目については、満たしていれば、より快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

特 記 仕 様 書

- ①洋式便座
- ②水洗機能（し尿処理装置付きを含む）
- ③臭い逆流防止機能
- ④容易に開かない施錠機能
- ⑤照明設備
- ⑥衣類掛け等のフック付き、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重 5 kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- ⑦現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ⑧入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）
- ⑨サニタリーボックス（女性専用トイレ必ず設置）
- ⑩鏡と手洗器
- ⑪便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- ⑫室内寸法900×900mm 以上（面積ではない）
- ⑬擬音装置（機能を含む）
- ⑭着替え台（フィッティングボード等）
- ⑮フラッパー機能の多重化
- ⑯窓など室内温度の調整が可能な設備
- ⑰小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

3 確認方法

受注者は、快適トイレ設置にあたり、上記 2 の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を工事に関する確認票に添付し、規格・基数等の詳細を監督職員へ提出することとする。

4 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用は、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とする。

なお、計上数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事（施工箇所）※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事（施工箇所）※より多く設置する場合については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所です計上できるものとする。

5 その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第 13 条 工事実績データ作成、登録

- 1 高知県建設工事共通仕様書共通編 1－1－1－6 に基づき、受注者は工事請負金額 500 万円以上（単価契約の場合は登録不要）の全ての工事について、工事実績情報サービス（コリンズ）に受注・変更（工期、請負代金額、技術者）・完成・訂正時の工事実績データを登録しなければならない。

第 14 条 公共事業労務費調査に対する協力

- 1 本工事が高知県の実施する公共事業労務費調査の対象工事になった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- 2 調査票等を提出した事業所を高知県が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- 3 公共事業労務費調査の対象工事になった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就労規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。
- 4 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前 3 項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

第 15 条 施工形態動向調査等に対する協力

- 1 本工事が高知県の実施する施工形態動向調査等の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。なお、調査費用は設計変更により計上することとする。

第 16 条 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出並びに建設発生土の搬出に係る事前確認及び受領書について

- 1 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負代金額が 1 0 0 万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が 500m³ 以上の場合、再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式 1）を建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 2 受注者は、建設副産物の搬入量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金額が 1 0 0 万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が 500m³ 以上の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式 2）を COBRIS により作成し

特 記 仕 様 書

、施工計画書と併せて提出しなければならない。

- 3 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において再生資源利用促進計画を作成しようとするときは、あらかじめ工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更についての土壤汚染対策法等の手続きの確認並びに搬出先が宅地造成及び特定盛土等規制法及び土砂条例の許可地等であるかなどの確認を行い、その確認結果を記載した書面を作成し再生資源利用促進計画の添付資料とする。
- 4 受注者は、再生資源利用（促進）計画書の内容を発注者に説明しなければならない。また、再生資源利用（促進）計画書（現場揭示用様式）を公衆が見やすい場所に掲げること。
- 5 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに、当該搬出先の管理者に対し、受領書の交付を求め、記載された搬出先の名称及び所在地が計画と一致することを確認する。なお、発注者から請求があった場合は速やかに受領書を提示すること。
- 6 受注者は、建設発生土を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、搬入元の管理者に対し受領書を交付する。
- 7 受注者は、再生資源利用（促進）計画書、実施書及び受領書を工事完了日から5年を経過する日まで保存すること。

（参考）COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ

（<http://www.recycle.jaic.or.jp>）より、利用申請等を行うことができる。

第17条 産業廃棄物管理票等の提出

- 1 受注者は、本工事に伴い発生する産業廃棄物（以下「産業廃棄物」という。）について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」という。）を遵守し工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分、又は再生）を終了しなければならない。また、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに発注者にそのE票の確認を受けなければならない。
- ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後すみやかに発注者にその旨を報告しなければならない。この場合、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票の確認を受けなければならない。また、最終処分終了後すみやかにE票の確認を受けなければならない。なお、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合

は、監督職員と別途協議するものとする。

第18条 建設副産物対策（建設副産物処理の数量確認）

本工事において、現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から建設副産物を搬出する場合、受注者は、搬出時等に以下のいずれかの作業を行い撮影したデジタル写真（電子データ）等を設計数量の確認資料として、監督職員に提出等をするものとする。

（作業内容）

（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）の単位とする場合

- ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（各積載重量別車両毎に1工程以上（以下「代表写真」という。））
- ②受注者は、①の全車両について処理施設に設置されているトラックスケールにて、重さを測定し、レシート等の記録を保管する。
- ③受注者は、監督職員に①の電子データを提出し、②の記録を提示する。

（2）建設副産物の処理数量を体積（「m³」）の単位とする場合次の1）から3）のうち、いずれかの方法により確定する。

- 1）コンクリート殻、アスファルト殻及び土砂など地山の状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができるものは、地山測定による設計数量の確定をする。

受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

- 2）前記「（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）により確認する場合」により重さを測定し、換算係数を用いて体積を算出して設計数量を確定する。

- ・コンクリート塊（鉄筋）2.5（t/m³） ・コンクリート塊（無筋）2.35（t/m³）
- ・アスファルト塊2.35（t/m³） ・掘削土（土砂）1.8（t/m³）
- ・掘削土（軟岩）2.2（t/m³） ・掘削土（硬岩）2.5（t/m³）

- 3）地山状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積

特 記 仕 様 書

確認ができずに、掘削や取壊しなどを行った場合は、現場外への搬出の際に以下により確認する。

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）

④受注者は、監督職員に②③の電子データを提出する。

（３）受注者と処理施設との間の処理数量を「台数」による契約とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）

（４）建設副産物（建設発生木材（伐採木を含む））を木材市場等に搬出する場合

①受注者は、木材を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時に、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する。（木材市場等まで運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。ただし、伐採木の売却を目的とした伐採木の枝打ち、玉切り等の加工、選別をしたものは、マニフェスト交付番号の記載は必要ない。）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるよう運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

③受注者は、監督職員に②の電子データを提出し、木材市場等の受入伝票等を提示する。

第 19 条 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等

1 監督職員の立会を要する工種については、施工計画書提出時に、立会時期・頻度等を定めるものとする。

第 20 条 工事完成図書の記録方法

1 本工事における工事完成図書は紙納品とする。

ただし、完成図、工事写真、その他についてはデータも提出すること。

第 21 条 電子納品で提出されたデジタル写真

1 電子納品により引渡しを受けた工事完成図書のデジタル写真については、無断編集等についての調査を行うことがある。

なお、調査した結果、無断編集の疑いのあるものについては、検査及び引渡し後であっても書面による事実確認を行うものとする。

第 22 条 デジタル工事写真の黒板情報電子化

デジタル工事写真の黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入及び、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という。）とすることができる。対象工事では、以下の 1 から 4 の全てを実施することとする。

1 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「使用機器」という。）については、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理) 2 撮影基準に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照すること。ただし、使用機器を限定するものではない。

2 デジタル工事写真における黒板情報の電子的記入

受注者は、前項 1 の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。黒板情報の電子的記入を行う項目は、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理) 2 撮影基準による。

特 記 仕 様 書

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3 小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理)及び高知県電子納品運用に関するガイドライン第5.2版(工事編)の表 2-1電子納品に関連する要領・基準に定めるデジタル写真管理情報基準に準ずるが、前項2に示す小黒板情報の電子的記入については、高知県電子納品運用に関するガイドライン第5.2版(工事編)の5-3. デジタル写真の編集で規定されている写真編集には該当しない。

4 小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、前項2に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黒板情報電子化写真」という。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL(<https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

第23条 施工管理

- 品質管理は「高知県工事技術管理要綱 品質管理基準」により実施し、その他の試験区分に係る試験項目は、監督職員との協議による。

第24条 排出ガス対策型建設機械

- 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成22年3月18日付国総施第291号)」、排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(国土交通省告示第348号、平成18年3月17日)」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日付け国総施第215号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51号)」に基づき、技術基準に適合するものとして届出された特定特殊自動車を、本工事において使用する場合はこの限りではない。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で

実施された建設技術審査証明等により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は監督職員と協議するものとする。また、請負金額(税込み)が5千万円以下の工事については、未対策型建設機械を所有しており、新たな出費を強いられる等の理由がある場合は、施工計画打ち合わせ時に監督職員と協議し、止むを得ないと判断された場合は、未対策型建設機械を使用することができるものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、電子納品の際に施工状況写真に格納すること。

機 種

- ・バックホウ
- ・トラクタショベル(車輪式)
- ・ブルドーザ
- ・発動発電機(可搬式)
- ・空気圧縮機(可搬式)
- ・油圧ユニット(次に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機)
- ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ
- ・ホイールクレーン(ラフテレーンクレーンを含む)

※対象はディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。

第25条 交通誘導警備員の配置

- 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員その他職種の者を従事させてはならない。

ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでない。

- 交通誘導警備員Aが必要な交通誘導警備業務については、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を交通誘導警備業務を行う場所ごとに、

特 記 仕 様 書

1人以上配置することとする。

なお、配置する警備員の検定合格証の写しを事前に監督職員に提出し、警備員に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同資料を提出することとする。

- 3 交通誘導警備員Aが必要でない交通誘導警備業務については、警備業者の警備員であれば、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員である必要はない。

また、警備業者の警備員の配置が困難な場合は、別に定める手続きにより、警備業者の警備員によらず建設作業員等の他職種の者を交通誘導員として従事させることができることとする。なおその際、受注者は、交通誘導に関する安全教育を建設作業員等に行なったうえ、交通誘導員として専任させること。

- 4 交通誘導警備員の人手不足により、施工箇所周辺の警備業者からの配置が困難であり、やむなく現場までの通勤が長時間となる場合において、その費用の設計計上を希望する場合は、建設工事請負契約書第18条（契約変更）に基づき、「移動距離及び移動時間が確認できる資料」及び契約予定の警備業者より施工箇所に近い、全ての警備業者（営業所等含む）の「交通誘導警備員の配置に関する確認書」を付して確認請求を行うこと。

ただし、対象となる警備業者の「交通誘導警備員の配置に関する確認書」が提出できない場合は、設計変更の対象としないものとする。

- 5 交通誘導警備員の高齢化、就業者不足等により、交通誘導警備員の確保が困難な場合において、交通誘導警備員の代替えとして映像解析AI等による交通誘導システム（以下、交通誘導システム等）の使用を可能とする。

交通誘導システムの使用を希望する場合は、建設工事請負契約書第18条（契約変更）に基づき、複数社から徴収した「交通誘導警備員の配置に関する確認書」及び交通誘導システム等の見積書を付して協議を行うこと。

第26条 設計図書の変更

- 1 設計変更等については、建設工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知県建設工事共通仕様書共通編1-1-1-14から1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約における設計変更ガイドライン（令和2年4月（高知県土木部）」）によることとする。

第27条 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第28条 監理技術者等

- 1 本工事において、建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者（以下、「専任特例2号による監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（12）の要件を全て満たさなければならない。

- （1） 兼務する工事が社会機能の維持に不可欠な工事（維持委託業務等を含む。）でないこと。（例：24時間体制で応急処置作業や巡回パトロール等が必要な工事等）
 - （2） 低入札価格調査制度の調査対象工事でないこと。
 - （3） 同一の専任特例2号による監理技術者が配置できる工事の数は、同時に2件までであること。
 - （4） 専任特例2号による監理技術者が兼務できる工事は、専任特例2号による監理技術者として職務を適正に遂行できる範囲内にあること。具体的には、工事現場の相互の距離が10km程度以内の近接した場所であること。
 - （5） 専任特例2号による監理技術者が兼務できる工事は、高知県発注工事以外（公共工事に限る。）でも可能とする。
 - （6） 専任特例2号による監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行できること。
 - （7） 専任特例2号による監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - （8） 建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
 - （9） 監理技術者補佐は、主任技術者の要件を満たしている者のうち、1級施工管理技士補を有する者又は1級施工管理技士等により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号による監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
 - （10） 監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的（3ヶ月以上）な雇用関係にあること。
 - （11） 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
 - （12） 兼務する工事の発注者に本工事との兼務について承諾を得ること。
- 2 本工事の監理技術者が専任特例2号による監理技術者として兼務することとなる場合、「建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者及び監理技術者補佐の取扱いについて」（令和5年3月14日付け4高土政第1343号土木部長通知 最終改正：令和7年1月23日付け6高土政第1196号）に規定する別記様式1、別記様式2及び1の（1）～（12）の事項について確認できる書類を「現場代理人・技術者届」に添付し、提出すること。

特 記 仕 様 書

3 本工事において、専任特例2号による監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

第29条 工期

工期には、実働日数、雨天日、準備期間、後片付け期間及びその他作業不能日が含まれる。

また、工期に猛暑日を含むと想定される工事には、猛暑日日数7日が工期に含まれている。なお、実際の猛暑日日数が7日から大きく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を請求することができる。

（港湾工事及び港湾海岸工事を除く）

※猛暑日とは、8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数（休日を除く）とする。WBGT値は、環境省熱中症予防情報サイトに掲載されている観測データによる。

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 水道事業

第22号

明示事項（説明書）

【工程関係】

1. 他の工事による施工時期及び全体工期等への影響・・・・・・・・無

2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限・・・・・・・・無

3. 当該工事の関係機関との協議の未成立事項・・・・・・・・無

4. 他官庁等の特定条件による影響・・・・・・・・無

5. その他・・・・・・・・無

【用地関係】

1. 工事用地等の未処理部分・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 水道事業

第22号

明示事項（説明書）

2. 仮設ヤード等に官有地及び発注者借り上げ地の使用・・・・・・・・無

【安全対策関係】

1. 交通安全施設等の指定・・・・・・・・無

2. 近接する公共施設・・・・・・・・鉄道・ガス・電気・電話・水道・・・・・・・・無

3. 防護施設の必要・・・・・・・・落石・土砂崩落・・・・・・・・無

4. 発破作業等の保安設備及び保安要員の配置の指定・・・・・・・・無

5. 発破作業等の制限・・・・・・・・無

【工事用道路関係】

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 水道事業

第22号

明示事項（説明書）

1. 一般道路を搬入路として使用する場合

(1) 経路、期限の制限・・・・・・・・無

(2) 使用中及び使用後の処置・・・・・・・・無

2. 仮設路を設置する場合

(1) 安全施設等の設置の必要・・・・・・・・無

(2) 工事終了後の措置・・・・・・・・撤去

(3) 維持及び補修の必要・・・・・・・・無

3. 一般道路の占用の必要・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 水道事業

第22号

明示事項（説明書）

【仮設備関係】

1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を次年度に使用又は転用、兼用の予定・・・・・・・・無
2. 仮設備の構造、施工方法の指定・・・・・・・・無
3. 仮設備の設計条件・・・・・・・・無

【建設副産物関係】

1. 建設発生土の搬出・・・・・・・・有
 - (1) 搬出先の名称 四国砕石（株）

搬出先の所在地 南国市才谷979-2

運搬距離 7.3 km

その他 建設発生土の搬出先は、上記を予定している。

搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。

また、受注者の都合により搬出先を変更する場合は、発注者の承諾を得ること。
2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 水道事業

第22号

明示事項（説明書）

3. 産業廃棄物の処理条件（*処理を委託する場合は、委託契約条件締結のうえマニフェストを使用のこと）

（1）As殻

処理場所 （有）才谷建設 南国市岡豊町小蓮1273

距離 8.2km

処理方法（指定） 再資源化

処理場の受入条件

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の
条件明示であり指定事項ではない。

【公害対策関係】

1. 公害防止（騒音・振動・粉じん等）のため、施工方法、機械施設・作動時間等の制限・・・・・・無

2. 第三者に被害を及ぼすことの懸念・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 水道事業

第22号

明示事項（説明書）

【工事支障物件関係】

1. 地上、地下等の支障物件・・・・・・・・無

2. 地上、地下等の占用物件工事と重複施工・・・・・・・・無

【排水工（濁水処理を含む）関係】

1. 濁水、湧水等の処理対策の指定・・・・・・・・無

【現場環境改善関係】

1. 現場環境改善費・・・・・・・・無

【その他】

1. 工事用資機材等の保管指定・・・・・・・・無

2. 工事現場発生品の処理指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 水道事業

第22号

明示事項（説明書）

3. 支給資材及び貸与品・・・・・・・・無

4. 工事用電力等の指定・・・・・・・・無

5. 交通誘導警備員の配置

（1）工事期間中の安全確保のため、交通誘導警備員の配置人数は下記を予定している。

交通誘導警備員B 100 人

なお、交通誘導警備員の配置については、事前に監督職員と協議すること。

6. その他・・・・・・・・無

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
水道					
管路					
管路工(工種)					
材料					
硬質塩化ビニル管	式	1			明細表 第1号
ポリエチレン管	式	1			明細表 第2号
仕切弁	式	1			明細表 第3号
給水管	式	1			明細表 第4号
管路土工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物撤去工	式	1			明細表 第5号
土工	式	1			明細表 第6号
舗装工	式	1			明細表 第7号
布設工					
硬質塩化ビニル管	式	1			明細表 第8号
ポリエチレン管	式	1			明細表 第9号
仕切弁	式	1			明細表 第10号
給水管	式	1			明細表 第11号
附帯工	式	1			明細表 第12号
仮設工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員	式	1			明細表 第13号
直接工事費計					
共通仮設費積上分					
技術管理費	式	1			明細表 第14号
共通仮設費率分	式	1			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費	式	1			
現場管理費					
工事原価					

明細表 第 1号
硬質塩化ビニル管

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ビニル管 HI φ 50					管材費
	m	5.2			
ビニル管 HI φ 75					管材費
	m	1.3			
エルボ HI φ 50					管材費
	個	3			
エルボ HI φ 75					管材費
	個	1			
M形D曲管(ショートタイプ) 塩ビ管・鋼管用 φ 75×90° 内外面エポキシ樹脂粉体塗装・離脱防止金具付					管材費
	個	1			
ビニール用M形キャップ φ 75 離脱防止金具付					管材費
	個	1			
1 式 当り					

明細表 第 2号
ホリエチレン管

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配水用ホリエチレン管 (本) ブレンエント φ100×5.00	本	2			管材費
水道配水用ホリエチレン管 (本) EF受口付 φ50	本	4			管材費
水道配水用ホリエチレン管 (本) EF受口付 φ100	本	64			管材費
EF チース 両受 φ50×φ50	個	1			管材費
EF チース 両受 φ100×φ50	個	3			管材費
EF レアユーサ 片受 φ100×φ50	個	1			管材費
EF ヘント 片受 φ100×11・1/4	個	2			管材費
EF ヘント 片受 φ50×90	個	1			管材費
EF ヘント 両受 φ50×45	個	3			管材費
ホリエチレン管×塩ビ管 φ50 内外面ホリエチレン樹脂粉体塗装・材質: 鋳鉄製 離脱防止金具付	個	2			管材費

明細表 第 2号
ホリエチレン管

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
PE用M形異種管継手(PVジ ^ョ イント) φ50×45°(HPPE×塩ビ ^ビ) 内外面 ^ホ キ樹脂粉体塗装・離脱防止金具付	個	1			管材費
メカ ^ホ リ小曲管 φ50×90°ホリエチレン管×塩ビ ^ビ 管 内外面 ^ホ キ樹脂粉体塗装・材質: 鋳鉄製 離脱防止金具付	個	1			管材費
メカ ^ホ リ付短管 φ100 内外面 ^ホ キ樹脂粉体塗装・離脱防止金具付	個	1			管材費
フランジ ^ヰ 結合補強具 φ100 メタルハ ^ッ ッケン ロックボ ^ッ ルト付 LSP100同等品	組	1			管材費
フランジ ^ヰ 接合付属品 φ100 RF-7.5 SUS304 ナット焼付防止処理	組	1			管材費
メカ ^ホ リキャップ ^ヰ φ50 25A ^ヰ ラ ^ヰ 付 内外面 ^ホ キ樹脂粉体塗装・離脱防止金具付	個	1			管材費
1 式 当り					

明細表 第 3号
仕切弁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
割T字管フランジ型ソトシール仕切弁付 鋳鉄管用 φ200×φ100 タタイル製 通水部粉体塗装 SUSボルト仕様	個	1			管材費
M型ソトシール仕切弁 φ50(10K) 開度計有 ポリエチレン管用 内面粉体塗装・離脱防止金具付	基	5			管材費
M形ソトシール仕切弁 φ50(10K) 開度計付(V×P) 内面粉体塗装・離脱防止金具付	基	1			管材費
M型ソトシール仕切弁 φ100(7.5K) 開度計有 ポリエチレン管用 内面粉体塗装・離脱防止金具付	基	2			管材費
不断水簡易仕切弁 ビニル管用 φ50、ST式閉止装置 ブラグ型ST型IPST同等品、STVFバルブ含む	個	1			管材費
不断水簡易仕切弁 ビニル管用 φ75 SUSボルト仕様	個	1			管材費
仕切弁鉄蓋 25型	個	11			
弁ボックス 25 A1.5 NHV0-25-150A 同等品	個	11			
弁ボックス 25 25B2 NHV0-25-200B 同等品	個	11			
弁ボックス 25 25C3 NHV0-25-300C 同等品	個	11			

明細表 第 3号
仕切弁

明細表

[illegible]

明細表 第 4号
給水管

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道用ポリエチレン二層管 1種軟質 φ20 JIS K 6762	m	2			管材費
サドル分水栓 水道配水ポリエチレン管用 鋳鉄製 ボール型 φ100×20	個	1			管材費
差込み(ワタッチ式)継手 分・止水栓 MQリング付 φ20 PEP用製品(金属継手) JWWAB116同等	個	1			管材費
差込み(ワタッチ式)継手 ソケット φ20 PEP用製品(金属継手) JWWAB116同等	個	1			管材費
インコア 差込み(ワタッチ式)継手用 樹脂製 φ20 PB3099	個	3			管材費
1 式 当り					

明細表 第 6号
土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小型バックホウ掘削積込 山積0.13m3 , 礫質土・砂・砂質土・粘性土	m3	250			単価表 第 3 号
管路埋戻(機械埋戻・小型バックホウ) 山積0.13m3 , 再生砕石 RC-40	m3	180			単価表 第 4 号
管路埋戻(機械埋戻・小型バックホウ) 山積0.13m3 , 再生砂	m3	72			単価表 第 5 号
ダンプトラック運搬(2t積) 小型バックホウ山積0.13m3 , 土砂 , L=7.3 km以下, DID区間:無	m3	250			単価表 第 6 号
残土処分費 四国砕石(株) 2t車	m3	250			処分費
1 式 当り					

明細表 第 8号
硬質塩化ビニル管

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質塩化ビニル管切断 φ 50mm					単価表 第 9 号
	口	5			
硬質塩化ビニル管切断 φ 75mm					単価表 第 10 号
	口	2			
据付工(硬質塩化ビニル管布設) φ 50mm					単価表 第 11 号
	m	5.5			
据付工(硬質塩化ビニル管布設) φ 75mm					単価表 第 12 号
	m	1.5			
TS継手工(硬質塩化ビニル管布設) φ 50mm					単価表 第 13 号
	口	6			
TS継手工(硬質塩化ビニル管布設) φ 75mm					単価表 第 14 号
	口	2			
メカニカル継手工(ポリエチレン管布設) φ 75mm					単価表 第 15 号
	口	3			
1 式 当り					

明細表 第 9号
ホ°ポリエチレン管

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ホ°ポリエチレン管切断 φ 50mm	口	9			単価表 第 16 号
ホ°ポリエチレン管切断 φ 100mm	口	4			単価表 第 17 号
据付工(ホ°ポリエチレン管(融着接合)布設) φ 50mm	m	22.3			単価表 第 18 号
据付工(ホ°ポリエチレン管(融着接合)布設) φ 100mm	m	331.5			単価表 第 19 号
継手工(ホ°ポリエチレン管(融着接合)布設) φ 50mm , 1口継手/箇所	箇所	11			単価表 第 20 号
継手工(ホ°ポリエチレン管(融着接合)布設) φ 100mm , 1口継手/箇所	箇所	67			単価表 第 21 号
継手工(ホ°ポリエチレン管(融着接合)布設) φ 50mm , 2口継手/箇所	箇所	1			単価表 第 22 号
継手工(ホ°ポリエチレン管(融着接合)布設) φ 100mm , 2口継手/箇所	箇所	3			単価表 第 23 号
メカニカル継手工(ホ°ポリエチレン管布設) φ 50mm	口	21			単価表 第 24 号
メカニカル継手工(ホ°ポリエチレン管布設) φ 100mm	口	5			単価表 第 25 号

明細表 第 10号
仕切弁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不断水連絡(鑄鉄管布設) 本管 φ 200mm*取出 φ 100mm					単価表 第 30 号
	箇所	1			
不断水簡易仕切弁工 ビニル管用 φ 50					
	箇所	1			
不断水簡易仕切弁取付工 φ 75 手間のみ					
	箇所	1			
鑄鉄製仕切弁設置・撤去(機械力) 設置, φ 100mm以下, 縦型					単価表 第 31 号
	基	8			
鉄蓋設置・撤去(仕切弁・空気弁ボックス) 設置, 円形 1号(250), 無収縮モルタル: 無					単価表 第 32 号
	個	11			
レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去 設置, 円形 1号(250), 上部壁(H=150)					単価表 第 33 号
	個	11			
レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去 設置, 円形 1号(250), 中部壁(H=200)					単価表 第 34 号
	個	11			
レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去 設置, 円形 1号(250), 下部壁(H=300(RB(C), RB(CA)))					単価表 第 35 号
	個	11			
レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去 設置, 円形 1号(250), 底板(H=40)					単価表 第 36 号
	個	11			
1 式 当り					

明細表 第 11号
給水管

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
据付工(ポリエチレン管布設) φ 20mm					単価表 第 37 号
	m	2			
サトル分水栓建込工 φ 20mm , ポリエチレン管(水道配水用) , φ 100mm					単価表 第 38 号
	箇所	1			
ポリエチレン管切断 φ 20mm					単価表 第 39 号
	口	2			
継手工(ポリエチレン管布設) φ 20mm					単価表 第 40 号
	口	3			
1 式 当り					

明細表 第 12号
 附帯工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
溶剤浸透防護スリーブ被覆(ホリエレン管布設) φ75mm以下,粘着テープ	m	27.7			単価表 第 41 号
溶剤浸透防護スリーブ被覆(ホリエレン管布設) φ75mm以下,粘着テープ	m	1.5			単価表 第 42 号
溶剤浸透防護スリーブ被覆(ホリエレン管布設) φ100mm,粘着テープ	m	331.5			単価表 第 43 号
管明示テープ(ホリエレン管布設) φ50mm,天端明示:有	m	27.7			単価表 第 44 号
管明示テープ(ホリエレン管布設) φ75mm,天端明示:有	m	1.5			単価表 第 45 号
管明示テープ(ホリエレン管布設) φ100mm,天端明示:有	m	331.5			単価表 第 46 号
管明示シート(鑄鉄管布設)	m	362.4			単価表 第 47 号
ロケティングワイヤー	m	360.7			単価表 第 48 号
埋設管表示ビーン設置	箇所	20			単価表 第 49 号
1 式 当り					

単価表 第 1号

舗装版取壊し(小型バックホ直接掘削積込)

単価表

(100)

金額：

内容：0cm超え10cm以下，山積0.13m3

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.49			
普通作業員	人	0.74			
小型バックホ運転(山積0.13m3)管路土工	日	0.606			
諸雑費	式	1			
	(	100	m ² 当り		)
	(	1	m ² 当り		)
*** 施工条件 *** 取壊し舗装厚 : 0cm超え10cm以下 バックホ規格 : 山積0.13m3					

単価表 第 2号 ダンプトラック運搬(2t積) 単価表 (10) 1 m3 当り					
金額： 内容：小型バックホウ山積0.13m3 , As塊・Co塊(無筋) , L=8.2 km以下, DID区間:無					
名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転(2t積)	日	1.95			
諸雑費	式	1			
	(	10	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 積込機種 運搬区分 : 小型バックホウ山積0.13m3 : As塊・Co塊(無筋)					
運搬距離(片道) DID区間の有無 タイヤ損耗条件 : L=8.2 km以下 : DID区間:無 : 良好					

単価表 第 3号

小型バックホウ掘削積込

単価表

(100)

金額：

内容：山積0.13m3，礫質土・砂・砂質土・粘性土

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	2.4			
普通作業員	人	6.7			
小型バックホウ運転(山積0.13m3)管路土工	日	2.273			
諸雑費	式	1			
	(	100	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 小型バックホウ規格 : 山積0.13m3 土質 : 礫質土・砂・砂質土・粘性土					

単価表 第 4号

管路埋戻(機械埋戻・小型バックホ)

単価表

(100)

金額：

内容：山積0.13m³，再生碎石 RC-401 m³ 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	2.5			
普通作業員	人	6.8			
小型バックホ運転(山積0.13m ³)管路土工	日	1.538			
バックホ運転(管路埋戻)	日	3.0			
再生碎石 RC-40	m ³	120			
諸雑費	式	1			
	(	100	m ³ 当り		)
	(	1	m ³ 当り		)
*** 施工条件 *** 小型バックホ規格 : 山積0.13m ³ 埋戻材 : 購入 埋戻材種類(購入) : 再生碎石 RC-40					

単価表 第 5号

管路埋戻(機械埋戻・小型バックホ)

単価表

(100)

金額：

内容：山積0.13m3，再生砂

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	2.5			
普通作業員	人	6.8			
小型バックホ運転(山積0.13m3)管路土工	日	1.538			
クハ 運転(管路埋戻)	日	3.0			
再生砂	m3	126			
諸雑費	式	1			
	(	100	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 小型バックホ規格 : 山積0.13m3 埋戻材 : 購入					
埋戻材種類(購入) : 再生砂 再生砂の規格 : 再生砂					

単価表 第 6号

ダンプトラック運搬(2t積)

単価表

(10)

金額：

内容：小型バックホウ山積0.13m3 , 土砂 , L=7.3 km以下, DID区間:無

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転(2t積)	日	1.5			
諸雑費	式	1			
	(	10	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 積込機種 : 小型バックホウ山積0.13m3 運搬区分 : 土砂					
運搬距離(片道) : L=7.3 km以下 DID区間の有無 : DID区間:無 タイヤ損耗条件 : 良好					

単価表 第 7号

アスファルト舗装工(人力施工)

単価表

(100)

金額：

内容：舗装厚30 mm, 車道及び路肩 , t ≤ 50mm , 再生密粒度T0P13 , 小型車加算:有

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.4			[2] 1*100/D*層数
特殊作業員	人	0.8			[2] 2(3)*100/D*層数
普通作業員	人	1.6			[2] 4*100/D*層数
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)	t	7.544			
小型車加算 生アス	t	7.544			
振動ロー運転(人力舗装工)	日	0.4			[2]
振動コンパクタ運転(人力舗装工)	日	0.8			[2]
諸雑費 6 % 対象額は摘要欄[2]の計	式	1			
	(	100	m ² 当り		)
	(	1	m ² 当り		)

単価表 第 8号

不陸整正工

単価表

(100)

金額：

内容：施工幅 1.8m未満，補足材：有，補足材平均厚30 mm, 再生粒調碎石 RM-30

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.52			
再生粒調碎石 RM-30	m ³	3.81			
ﾀﾝﾊﾞ 運転(路盤工)	日	0.46			
諸雑費	式	1			
	(	100	m ² 当り		)
	(	1	m ² 当り		)
*** 施工条件 *** 施工幅 : 施工幅 1.8m未満 補足材の有無 : 補足材：有					
補足材平均厚 : 補足材平均厚30 mm 補足材の種類 : 再生粒調碎石 RM-30					

単価表 第 9号

硬質塩化ビニル管切断

単価表

(1)

金額：

内容：φ50mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.01			[1]
普通作業員	人	0.01			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm					

単価表 第 10号

硬質塩化ビニル管切断

単価表

(1)

金額：

内容：φ75mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.02			[1]
普通作業員	人	0.02			[1]
諸雑費 5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ75mm					

単価表 第 11号

据付工(硬質塩化ビニル管布設)

単価表

(10)

金額：

内容：φ50mm

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.1			
普通作業員	人	0.18			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm					

単価表 第 12号

据付工(硬質塩化ビニル管布設)

単価表

(10)

金額：

内容：φ75mm

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.1			
普通作業員	人	0.18			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ75mm					

単価表 第 13号

TS継手工(硬質塩化ビニル管布設)

単価表

(2)

金額：

内容：φ50mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.04			[1]
普通作業員	人	0.04			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	2	口 当り		)
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm					

単価表 第 14号

TS継手工(硬質塩化ビニル管布設)

単価表

(2)
1 口 当り

金額： 内容： φ 75mm

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.04			[1]
普通作業員	人	0.04			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	2	口 当り		)
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ 75mm					

単価表 第 15号

メカニカル継手工 (ポリエチレン管布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ75mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.04			[1]
普通作業員	人	0.04			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ75mm					

単価表 第 16号

ポリエチレン管切断

単価表

(1)

金額：

内容：φ50mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.01			[1]
普通作業員	人	0.01			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm					

単価表 第 17号

ポリエチレン管切断

単価表

(1)

金額：

内容：φ100mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.02			[1]
普通作業員	人	0.02			[1]
諸雑費 7 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ100mm					

単価表 第 18号

据付工(ポリエチレン管(融着接合)布設)

単価表

(10)

金額：

内容：φ50mm

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.1			
普通作業員	人	0.18			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm					

単価表 第 19号

据付工(ポリエチレン管(融着接合)布設)

単価表

(10)

金額：

内容：φ100mm

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.12			
普通作業員	人	0.2			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ100mm					

単価表 第 20号

継手工(ポリエチレン管(融着接合)布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ50mm，1口継手/箇所

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.056			[1]
普通作業員	人	0.056			[1]
諸雑費 14 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm 1箇所当り継手数 : 1口継手/箇所					

単価表 第 21号

継手工(ポリエチレン管(融着接合)布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ100mm , 1口継手/箇所

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.084			[1]
普通作業員	人	0.084			[1]
諸雑費 14 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ100mm 1箇所当り継手数 : 1口継手/箇所					

単価表 第 22号

継手工(ポリエチレン管(融着接合)布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ50mm，2口継手/箇所

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.08			[1]
普通作業員	人	0.08			[1]
諸雑費 14 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm 1箇所当り継手数 : 2口継手/箇所					

単価表 第 23号

継手工(ポリエチレン管(融着接合)布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ100mm , 2口継手/箇所

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.12			[1]
普通作業員	人	0.12			[1]
諸雑費 14 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ100mm 1箇所当り継手数 : 2口継手/箇所					

単価表 第 24号

メカニカル継手工 (ポリエチレン管布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ50mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.04			[1]
普通作業員	人	0.04			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ50mm					

単価表 第 25号

メカニカル継手工 (ポリエチレン管布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ100mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.04			[1]
普通作業員	人	0.04			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ100mm					

単価表 第 26号

フランジ継手(鋳鉄管布設)

単価表

(1)

金額：

内容：JWWA 7.5K , φ100mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.06			[1]
普通作業員	人	0.06			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 規格 : JWWA 7.5K 呼び径 : φ100mm					
耐震型補強金具の同時設置 : 耐震型補強金具:同時設置しない					

単価表 第 27号

硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆

単価表

(1)

金額：

内容：フランジ短管トレスサージョイント，φ75mm

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.03			
ホリスリーブ φ75×5.00	m	0.4			[1]
粘着テープ 厚0.2mm 幅50mm	m	1.7			[1]
諸雑費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 *** 材料種別 : フランジ短管トレスサージョイント 呼び径 : φ75mm					

単価表 第 28号

硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆

単価表

(1)

金額：

内容：フランジ短管トレスサージョイント，φ100mm

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.03			
ホリスリーブ φ100×5.00	m	0.4			[1]
粘着テープ 厚0.2mm 幅50mm	m	2.3			[1]
諸雑費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 ***					
材料種別 : フランジ短管トレスサージョイント					
呼び径 : φ100mm					

単価表 第 29号

硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆

単価表

(1)

金額：

内容：曲管，φ 75mm

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.05			
ホースリフ [°] φ 75×5.00	m	1			[1]
粘着テープ [°] 厚0.2mm 幅50mm	m	2.8			[1]
諸雑費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 ***					
材料種別 : 曲管					
呼び径 : φ 75mm					

単価表 第 30号

不断水連絡(鑄鉄管布設)

単価表

(1)

金額：

内容：本管φ200mm*取出φ100mm

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員	人	0.28			[1]
水道配管工	人	0.74			[1]
普通作業員	人	1.92			[1]
不断水穿孔機 φ100 本体のみ	日	0.22			
諸雑費 5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 *** 種別(本管呼び径*取出呼び径) : 本管φ200mm*取出φ100mm					

単価表 第 31号

鋳鉄製仕切弁設置・撤去(機械力)

単価表

(1)

金額：

内容：設置，φ100mm以下，縦型

1 基 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.03			
普通作業員	人	0.05			
トラック[クレーン装置付] 4～4.5t積 2.9t吊	時間	0.4			
諸雑費	式	1			
	(	1	基 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置 呼び径 : φ100mm以下 型式 : 縦型					

単価表 第 32号 鉄蓋設置・撤去(仕切弁・空気弁ボックス) 単価表 (1) 金額： 内容：設置 , 円形 1号(250) , 無収縮モルタル:無 1 個 当り					
名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.06			
諸雑費	式	1			
	(	1	個 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置 蓋種類 : 円形 1号(250) 無収縮モルタルの有無 : 無収縮モルタル:無					

単価表 第 33号

レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去

単価表

(1)

金額：

内容：設置，円形 1号(250)，上部壁(H=150)

1 個 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.01			
諸雑費	式	1			
	(	1	個 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置 種類 : 円形 1号(250)					
種類(円形1号) : 上部壁(H=150)					

単価表 第 34号

レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去

単価表

(1)

金額：

内容：設置，円形 1号(250)，中部壁(H=200)

1 個 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.01			
諸雑費	式	1			
	(	1	個 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置 種類 : 円形 1号(250)					
種類(円形1号) : 中部壁(H=200)					

単価表 第 35号

レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去

単価表

(1)

金額：

内容：設置，円形 1号(250)，下部壁(H=300(RB(C), RB(CA)))

1 個 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.01			
諸雑費	式	1			
	(	1	個 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置 種類 : 円形 1号(250)					
種類(円形1号) : 下部壁(H=300(RB(C), RB(CA)))					

単価表 第 36号

レジンコンクリート製ボックス(円形)設置・撤去

単価表

(1)

金額：

内容：設置，円形 1号(250)，底版(H=40)

1 個 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.01			
諸雑費	式	1			
	(	1	個 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置 種類 : 円形 1号(250)					
種類(円形1号) : 底版(H=40)					

単価表 第 37号

据付工(ポリエチレン管布設)

単価表

(10)

金額：

内容：φ20mm

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.07			
普通作業員	人	0.12			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ20mm					

単価表 第 38号

サドル分水栓建込工

単価表

(1)

金額：

内容：φ20mm , ポリエチレン管(水道配水用) , φ100mm

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.06			[1]
普通作業員	人	0.06			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	箇所 当り		)
*** 施工条件 *** 配水管呼び径 : φ20mm 本管管種 : ポリエチレン管(水道配水用)					
本管呼び径(ポリエチレン管) : φ100mm					

単価表 第 39号

ポリエチレン管切断

単価表

(1)

金額：

内容：φ20mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.01			[1]
普通作業員	人	0.01			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ20mm					

単価表 第 40号

継手工(ポリエチレン管布設)

単価表

(1)

金額：

内容：φ20mm

1 口 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.02			[1]
普通作業員	人	0.02			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	口 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ20mm					

単価表 第 41号

溶剤浸透防護スリーブ被覆(ホリチレン管布設)

単価表

(100)

金額：

内容：φ75mm以下，粘着テープ

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.25			
普通作業員	人	0.25			
溶剤浸透防護スリーブ	m	144			
粘着テープ 厚0.2mm 幅50mm	m	51			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ75mm以下 固定具 : 粘着テープ					
溶剤浸透防護スリーブ割増係数 α : 0.2 溶剤浸透防護スリーブ単価の規格 : φ50mm					

単価表 第 42号

溶剤浸透防護スリーブ被覆(ポリエチレン管布設)

単価表

(100)

金額：

内容：φ75mm以下，粘着テープ

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.25			
普通作業員	人	0.25			
溶剤浸透防護スリーブ	m	144			
粘着テープ 厚0.2mm 幅50mm	m	51			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ75mm以下 固定具 : 粘着テープ					
溶剤浸透防護スリーブ割増係数 α : 0.2 溶剤浸透防護スリーブ単価の規格 : φ75mm					

単価表 第 43号

溶剤浸透防護スリーブ被覆(ポリエチレン管布設)

単価表

(100)

金額：

内容：φ100mm , 粘着テープ

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	0.3			
普通作業員	人	0.3			
溶剤浸透防護スリーブ	m	144			
粘着テープ 厚0.2mm 幅50mm	m	61.2			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ100mm 固定具 : 粘着テープ					
溶剤浸透防護スリーブ割増係数 α : 0.2 溶剤浸透防護スリーブ単価の規格 : φ100					

単価表 第 44号 管明示テープ° (ホ° リエチレン管布設) 単価表 (100) 金額： 内容： φ 50mm , 天端明示:有 1 m 当り					
名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.09			
明示テープ° 3cm×20m	m	115.826			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ 50mm 天端明示の有無 : 天端明示:有					

単価表 第 45号

管明示テープ° (ホ° リエチレン管布設)

単価表

(100)

金額：

内容：φ75mm，天端明示：有

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.1			
明示テープ° 3cm×20m	m	122.608			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 ***					
呼び径 : φ75mm					
天端明示の有無 : 天端明示：有					

単価表 第 46号

管明示テープ° (ホ° リエチレン管布設)

単価表

(100)

金額：

内容：φ100mm , 天端明示：有

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.1			
明示テープ° 3cm×20m	m	131.4			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 呼び径 : φ100mm 天端明示の有無 : 天端明示：有					

単価表 第 47号

管明示シート(鋳鉄管布設)

単価表

(100)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.4			
埋設クロスシート 150mm 2倍折込 50m	m	100			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 48号

ローディングワイヤー

単価表

(100)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人	0.1			
ローディングワイヤー φ 4.4(100m巻)	m	110			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 49号

埋設管表示ビーン設置

単価表

(10)

金額：

内容：

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋設管表示ビーン φ 25-φ 9×70mm SUS304製	個	10			
普通作業員	人	0.2			
諸雑費	式	1			
	(	10	箇所 当り		)
	(	1	箇所 当り		)

単価表 第 51号

通水試験

単価表

(1)

金額：

内容：既設管と連絡して給水車が不要

1 日 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道配管工	人	3			[1]
普通作業員	人	3			[1]
諸雑費 20 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			器具損料及び諸雑費
	(	1	日 当り		)
*** 施工条件 *** 作業内容 : 既設管と連絡して給水車が不要					

諸 経 費 計 算 情 報

単価適用年月日	令和 7年11月 1日
単価適用地区	中央東土木事務所 1 地区(南部地区)
工種区分	開削工事及び小口径推進工事等
施工地域・工事場所区分の補正	一般交通影響あり②
除雪工事で営繕費の補正を行う場合の補正	補正しない
緊急工事の補正	補正しない
前払金支出割合	3 5 %を超える (1.00)
契約保証に係る補正	金銭的保証
工事価格まるめ区分	千円まるめ
現場環境改善費の計上有無	計上しない
熱中症対策の補正有無	補正しない